

人・かがやきプラン推進事業

研 座 演 沙 資 映 他 体 ワ

東広島市教育委員会
広島県東広島市教育委員会生涯学習課
TEL 082-420-0979

実施年月日 実績等	平成16年 第1回 7月14日(水) 講義「社会教育と公民館」、演習「人権教育参加体験型プログラムの開発Ⅰ」 第2回 9月15日(水) 交流「1公民館1自慢運動」、演習「人権教育参加体験型プログラムの開発Ⅱ」 第3回 10月13日(水) 交流「1公民館1自慢運動」、演習「人権教育参加体験型プログラムの開発Ⅲ」 第4回 11月24日(水) 交流「1公民館1自慢運動」、演習「人権教育参加体験型プログラムの開発Ⅳ」 ○参加者/各25人 第5回 12月18日(土) 人権フォーラム「人・まち・ふれあい講演会」(人権教育参加体験型プログラム発表) ○参加者/130人 報告書作成：1,000部 配布先：市内の公民館、社会教育・生涯教育施設など
主催(共催)	東広島市教育委員会
開催場所	第1回～4回:東広島市児童・青少年センター、公民館(川上・高美が丘・志和・中央) 第5回:東広島市中央公民館
対象	第1～4回:公民館事務職員兼活動推進員、社会教育指導員、行政職員(社会教育担当者) 第5回:市民
人権課題	人権全般 (日常的に態度や行動に表れる視点で実施)

事業の目的

「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、「広島県人権教育・啓発指針」および「広島県人権教育推進プラン」に基づき、市が策定した「東広島市人権教育および人権啓発推進基本計画～人・かがやきプラン～」の中で、社会教育施策における推進の重点として、

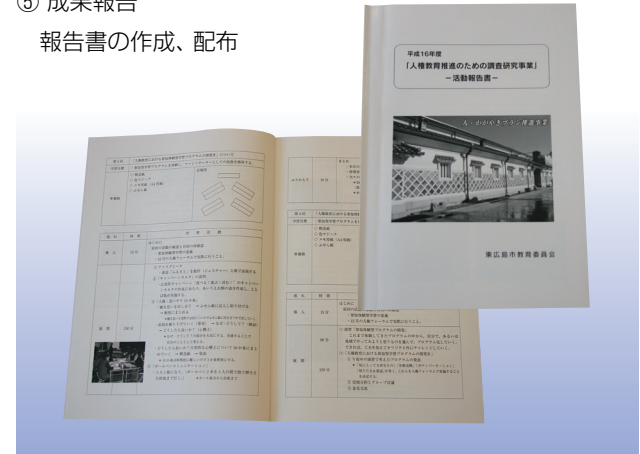
- ① 公民館等の社会教育施設を中心とした学習機会の充実
- ② 参加体験型の研修会の提供等、学習プログラムの開発の2点をあげている。本事業では、このプランを具現化するために、公民館事務職員兼活動推進員等を対象に全5回の研修プログラムを行い、参加体験型のプログラムを開発していくとともに、指導者としての力量を高めていく。

事業概要

参加体験型学習の手法を習得し、指導者(ファシリテーター)としての知識と技能を養うとともに、市民に参加体験型学習を幅広く周知していく。なお、参加体験型学習の前には、公民館の役割に関する講義と魅力ある公民館であるための話し合いが行われた。

- ① 概論
 - 人権を取巻く状況について(講義「現代的課題の認識」、「国・県市の指針について」等)
 - 人権教育、啓発に関する普及方策、手法(概論)
- ② 参加体験型学習の理論と実践・演習
 - 人権教育、啓発に関する普及方策
 - 手法その効果、情報提供のあり方等についての講義
 - 小グループに分かれ、参加体験型学習の演習

- 各地域における課題の抽出と課題解決に向けたプログラムの作成
- ③ 学習プログラムの作成に向けた演習
 - 小グループに分かれ、各自の作成したプログラムを演習
 - 相互に作成したプログラムへの助言等の意見交換
 - プログラムの再考察・再構築
- ④ 発表
 - 作成したプログラムにもとづき、市民対象の「人権フォーラム」でワークショップを行う。
- ⑤ 成果報告
 - 報告書の作成、配布



実施したプログラムを報告書に掲載

連携状況

広島県教育委員会、広島県呉・賀茂教育事務所、広島県立生涯学習センター、東広島市公民館館長会、東広島市児童青少年センターと事業推進のための連携、協議を行った。

特色・工夫した点

研修会で作成したプログラムを開催した人権フォーラム「人・まち・ふれあい講演会」で実施することにより、市民を対象としたワークショップを主導する経験をし、ファシリテーターとしての技量を高めることができた。さらに、市民に参加体験型学習を体験してもらえた。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

- 年間5回の人権教育講座指導者研修会を実施したことによって、次のような成果が表れた。
- ① 地域の教育施設である公民館21か所に参加体験型の人権学習の手法が広まる。
 - ② 指導者としての自覚と自信が高まる。
 - ③ 公民館事務職員兼活動推進員、社会教育指導員、行政職員(社会教育担当者)の一体感と相互のネットワークが構築さ

れる。
指導者がまとまることすべての第一歩と考えているため、これは、非常に大きな収穫である。また、地域の公民館で参加体験型学習を行う際の協力体制が自然に整ったのもよかった。
④プログラム集にまとめることによって、今後の事業に活用できる。
○指導者研修会参加者の感想：「ゼロからのスタートだったが、かしまった一方的な人権教育とは違う、人と人とのふれあいを深めていく方法があることに気づいた」「このような研修会を公民館に取り入れて、気楽に参加してもらいたいです」「人権教育について経験があまりないので、ペアを組んだりグループになって話し合えることは心強かった」「常に弱者の立場にも配慮し、公民館などに来る人がみんな楽しいと思って帰ってくださるように心がけたい」「人権教育と聞くと、ややこしく、堅苦しいイメージがあったが、身近なところから人権を考えることが大切であると感じた」
○人権フォーラム参加者の感想：アンケートのすべてに「大変よかった」「よかった」と記入されており、「出席者参加型のプログラムで、とても楽しかった」「会場が一体になって非常に盛り上がりました」「自分の意見が言えて良かった」など、好評であった。公民館職員が自信を持つ良い機会となったフォーラムであった。

反省点・今後の課題

今後、合併により市域が広がる中で、今回の取り組みをどのように発展させていくかが、大きな課題となるので、指導者が一堂に会して検証する場を設けて、さらなる人権教育方法の構築を図っていきたい。
また、参加体験型学習は一つの手法にすぎないので、個別の人権課題についての理論研修を交えて、住民の人権感覚の醸成と人権意識の高揚を図りたい。



ワークショップを実施